

## 株式会社いちはらケーブルテレビ 令和7年度番組審議会 議事録

開催日時：令和8年3月4日(水) 10時30分～12時00分

開催場所：株式会社いちはらケーブルテレビ 会議室

【出席者】 <令和7年度 番組審議委員>※50音順

岡本 修 様  
小倉 絵里 様(ご欠席)  
亀田 雅之 様  
菅家 啓一 様  
時田 克男 様  
外山 洋子 様  
平田 英久 様  
藤田 和利 様  
西岡 紀代一 様

<いちはらケーブルテレビ>

代表取締役社長	長谷川 達也
放送部放送課長	小林 悟
放送部放送課主任	一場 貴裕
放送部放送課	青木 唯香

【次第】

1. 開会
2. 番組審議委員ご紹介
3. 株式会社いちはらケーブルテレビ 代表挨拶(代表取締役社長 長谷川 達也)
4. 放送番組審議委員長選任
5. 令和7年度の番組制作および放送の状況について
6. 当社自主制作番組視聴
  - ◆師走の名物 五井大市生中継 (2025年12月放送)
  - ◆猫ひろしのねこの手も借りたい (2025年11月放送)
  - ◆世界一のミセスが行! 市原ぐるめぐり (2026年2月放送)
7. 番組審議 委員の皆様のご意見確認
8. 番組審議総括
9. 番組審議会規程ご説明(委員の任期・改選について)
10. その他
11. 閉会

### 【放送番組審議委員長選任】

放送番組審議会規程に基づき、審議会の委員長に平田委員が選任。

### 【令和7年度の番組制作および放送の状況について】（代表取締役社長 長谷川 達也）

今年度は、「地域密着の更なる強化」を軸として、様々な取り組みを実施した。

- **地域イベントの生中継**

10月の上総いちばら国府祭り、12月の五井大市の生中継を実施。高い視聴率を獲得したほか、今回は新たな取り組みとして、国府祭り会場のビジョンカーに当社撮影の映像を2日間にわたり放映。

- **バラエティ番組**

2025年秋より、市原市の観光大使でタレントの猫ひろし氏を起用した番組「猫ひろしの猫の手も借りたい」を制作。市内で忙しい方・困っている方を猫さんがお手伝いするバラエティ番組の放送を開始した。

- **飲食店紹介番組**

2025年4月より、市内の飲食店を取り上げる番組「世界一のミセスが行く！市原ぐるめぐり」を制作。市内在住で美の世界大会でグランプリを獲得した杉原絵里香氏をナビゲーターに迎えた、新たな飲食店紹介番組の放送を開始した。

- **ニュース・情報番組**

市原市の様々な話題を取材して放送している「あいチャンネルトピックス」では、今年度も市内のイベントや地域の出来事を多数取材。全体で約150件程度の記事を放送。また、今年度からは市原警察署の協力を得て、犯罪発生状況などを定期的に放送。地域の安心・安全につながる取り組みも開始した。

### 【当社自主制作番組視聴】

- ◆ **師走の名物 五井大市生中継（2025年12月放送）**

2025年12月6日・7日に行われた五井大市。今年度は、初日の模様を生中継し、翌日の五井大市の来場を促す形で生中継を実施。

- ◆ **猫ひろしのねこの手も借りたい（2025年11月放送）**

市原市観光大使・猫ひろしさんが市内の様々な方をお手伝いする番組。今回は、五井の鮮魚店「魚鶴」さんのお手伝いの模様を視聴。

- ◆ **世界一のミセスが行く！市原ぐるめぐり（2026年2月放送）**

市原市在住、美の世界大会を制した杉原絵里香氏をナビゲーターに迎えた飲食店紹介番組。今回は、北国分寺台の「トラットリア・イルミネーレ」の紹介内容を視聴。

## 【番組審議 委員の皆様のご意見確認】

### 平田委員(委員長)

- 地域とつながる良い番組が制作されていると感じた。今後、さらに視聴者が増えることを期待している。

### 岡本委員

- 地域のイベントを取り上げている点は大変良い。事後報告の番組だけでなく、「来月こういうイベントがある」といった事前の告知(インフォメーション)も番組内に取り入れてほしい。
- 「ねこの手も借りたい」は地元の方ががんばっている様子がよくわかる。継続性をもたせることが大切だと考える。

### 亀田委員

- 3つの番組について、地域経済の活性化という視点で、青年部など若い人たちが頑張っている姿が捉えられていて良い。
- 飲食店の紹介番組では、店主の魅力が引き出されており、視聴者の「行ってみたい」「食べてみたい」という気持ちをかき立てる内容であった。

### 外山委員

- 3つの番組とも見入ってしまった。知っている人やお店が出演すると親近感が湧き、ずっと番組に引き込まれる。
- 一部の番組において、リポーターのテンションがやや高すぎると感じる場面があり、視聴者によっては引いてしまう可能性があるため、演出に配慮が必要ではないか。

### 菅家委員

- 市原市は高齢化が進んでおり、家にこもりがちな高齢者(特に男性)の孤独死や孤立を防ぎ、どうサポートしていくかが地域の大きな課題となっている。
- ケーブルテレビや広報誌を通じて、定年退職後の生活や地域コミュニティへの参加など、高齢者や福祉の問題により深く焦点を当てた情報発信を行ってほしい。

### 時田委員

- これまで放送された、市内の神社の祭礼や節分、小湊鉄道の駅などの取り組みを評価している。
- 市原市内の歴史的な背景や文化をさらに掘り下げ、映像として後世に残していくような文化的な番組制作を継続・強化していただきたい。

#### 西岡委員

- 紙の番組表が配布されなくなって以降、いつどのような番組が放送されているかが分からず、視聴する機会が減ってしまった。
- ペーパーレス化の意義は理解するが、高齢者等にも配慮し、番組表の周知や放送時間の見やすい知らせ方を工夫してほしい。

#### 藤田委員

- 地域のプロフェッショナル(職人や通信技術者など)が市民に専門知識を教える「カルチャー番組」や「技術的な要素を教える番組」を制作してはどうか。過去に実施したプロが教える「お魚教室」も非常に好評であった。
- 先々の催しを紹介する番組やコーナーがあるとよい。
- 市民の悩みを市役所のどの窓口で相談して良いかわからないことが多々ある。市役所の窓口紹介番組があると、分かりやすくて良い。